

## 4. 各分野における指導計画

### (1) 人権・同和教育

#### 1. 目 標

正しい人権感覚を身につけさせることに力を注ぎ、身のまわりの事実を鋭く見つめ、矛盾や不合理についてみんなと共に考え、差別をとりのぞいていける子どもを育てる。

#### 2. 努力点

正しいものの見方・考え方を育てる。そのため、全教育活動を通して目標達成の努力をする。

#### 3. 具体的な取り組み

- (1) 身のまわりの問題（人を傷つける言動等）に気づき、物事の善悪等を考える力を育てるために、学級経営を工夫する。
- (2) 仲間づくりを重視した学級づくりをすすめる。
  - ・一人ひとりの子どものをよく知り、学級・学年内での子ども同士の関わりをとらえ、日頃の指導にいかす。
  - ・相手の話をしっかり聞き、集中して学習がすすめられる学級づくりにつとめる。
  - ・子どもの生活を知り、基本的な生活習慣の確立に力を注ぐ。
- (3) 人権にかかわる授業に取り組み、各学級の実践をまとめる。
- (4) 「基礎学力」の充実のため、教材及び指導法の研究を深め、「わかる授業」を創造する。
- (5) 平和学習の取り組みをする。
- (6) 教職員の人権意識を高めるために、積極的に学習の場をもうけ、研修を深める。
- (7) 保護者の人権意識を高めるため、学級懇談会・人権教育懇談会・保護者学級などを通じて啓発を進める。

#### 4. 学年別努力目標

学年	内 容
1 年	<p>◎だれとでもなかよくできる学級づくりをめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に馴染める。</li> <li>・だれとでも遊べる。</li> </ul> <p>○友だちや先生の話をしっかり聞く子に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会、終わりの会に楽しく参加する。</li> </ul> <p>○自分で思ったこと、考えたことを何でも話す子に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会、終わりの会等でお話ができる。</li> </ul>
2 年	<p>◎仲よく力を合わす学級づくりをめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで助け合って活動する。</li> <li>・友だちのねがいを知る。</li> </ul> <p>○相手にわかるよう自分の考えをはっきり言う子に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会や終わりの会に意欲的に参加する。</li> <li>・自分としての意見をはっきり言えるようにする。</li> </ul> <p>○話し手の「いたいこと」をわかろうとしながら聞ける子に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの考えをじっくりと聞く。</li> </ul>
3 年	<p>◎友達を大切にし、やさしく助け合う学級づくりをめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を大切に聞く。</li> <li>・思いやりのある言葉が言える。</li> </ul> <p>○相手の気持ちになって考え、みんなと仲よくできる子に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の願いや困っていることについて考え合う。</li> <li>・思ったことをみんなで出し合い、話し合うことの大切さに気づく。</li> </ul> <p>○相手の気持ちになって聞ける子に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動の内容を工夫する。</li> <li>・人間のねうちについて考える。(友達のよさに気づく)</li> </ul>

学年	内 容
4 年	◎何でも話し合える学級づくりをめざす。 ・友達の意見を尊重して聞ける子に。 ○正しいものの見方・考え方のできる子に。 ・身のまわりの問題に気づく。 ・人間のねうちについて考える。 ○相手の気持ちがわかり、はげまし合える子に。 ・班活動を通して協力し合う。
5 年	◎身のまわりの問題で気づいたことを出し合える学級づくりをめざす。 ・自分からすすんで友だちとかかわり活動する。 ○身のまわりの問題に気づき考える子に。 ・願いや悩みを出し合い、みんなの問題として考える。 ○友達の問題を自分の問題としてとらえられる子に。 ・人間の尊さ、ほんとうのねうちについて考える。
6 年	◎互いに協力し、問題を解決していこうとする学級づくりをめざす。 ・最高学年としての自覚をもつ。 ○問題を問題としてしっかり受けとめ、深く考え合う子に。 ・一人一人のねがい、悩みをみんなのものにすることの大切さに気づく。 ○身のまわりの問題について、不合理なところを見つけ、解決しようとする子に。 ・将来について、めあてをもつ。

## 5. 教科と関わって（社、国、その他）

- 1年 大きなかぶ、くじらぐも（国）
- 2年 お手紙、スイミー、スーホの白い馬（国）
- 3年 モチモチの木、ちいちゃんのかげおくり（国）  
わたしたちの住んでいるところ、くらしをささえるまちではたらく人びと（社）
- 4年 一つの花、ごんぎつね（国）  
住みよいくらしをささえる（社）
- 5年 なまえをつけてよ、わらぐつの中の神様（国）  
これからの食料生産、日本の工業の特色、情報化社会を生きる（社）
- 6年 平和のとりでを築く、海の命（国）  
日本のあゆみ、わたしたちのくらしと政治（社）